

法人名	社会福祉法人 白百合会
施設名	丸山台保育園

発表者名 (職名)	原田 菜季 (保育士)
発表者名 (職名)	
発表者名 (職名)	

住所	横浜市港南区丸山台3-16-1		
TEL	045-843-7986	FAX	045-843-7965
メールアドレス	maruyamadai@ninus.ocn.ne.jp		
URL	https://shirayuri-maruyamadai.com/about/		
定員	100名	職員数	46名

発表の概要・内容

子どもたちの内面が大きく成長したと感じた、行事（ナイトハッピー☆デー）のお話したいと思います。ナイトハッピー☆デーとは、年長クラスの行事の一つです。普段とは違い、夕食後までの特別な一日。子どもたちからのリクエストなどを盛り込み、年長児ならではの特別感を楽しみながら夏の思い出を作っていく行事です。活動に興味を持って参加し、友だちと協力していく中で、仲間意識を深めたりいろいろなことを乗り越えて自信につなげていく。ということをねらいとして取り組んでいきました。

【エピソード① 子ども会議の進行と成長】

・**2ヶ月前からの準備**：行事の準備は約2ヶ月前から始まり、子どもたちは去年懂れていた行事が自分たちにもできると嬉しさを感じていました。その中で、どんな活動をしたいか、何を作りたいかを一緒に考え始めました。

・**アイデア**：普段とは違い、「遅い時間までいる」ということに期待を持ち、子どもたちから「みんなで夕食を作りたい」というリクエストが出ました。最初は保育者も話し合いに参加し、進めていきましたが、回数を重ねるうちに、子どもたちが自分たちで進めるようになり、そこから「子ども会議」がスタートしました。

・**グループワークと協力**：会議では、子どもたちが何を作りたいか、食べたいかなど意見を出し合いました。「みんなの好きな食べ物がいいね」と、周りのことを気にかける姿も見られました。最初は発言に差があり、意見を言えない子どももいましたが、5人の少人数のグループで話し合う時間をつくることで、自分の意見を言いやすい雰囲気を作られていきました。

・**自信を持つ過程**：全体の話し合いでは、クラスのリーダー役の子が、思いがなかなか出ない子を気づかい、「〇〇ちゃんはどう？」と声を掛け、その子が少しずつ意見を言うようになりました。「いいじゃん、それ！」と共感してもらうことで、他の子どもたちも発言しやすくなり、全体の雰囲気が活発になってきました。

振り返りと成長の要素

・初めの段階：初めは、子どもたちが自分の意見を主張することが多かったですが、次第に周りの意見にも関心を持ち、他の意見を取り入れるようになりました。特に、発言が得意な子どもは、周りの子どもに気配りをし、発言が苦手な子は少しずつ自信を持って発言できるようになりました。

・子どもたちの成長：子ども会議を通して、子どもたちは自己表現や他者への興味・関心が育ち、協力の大切さを学びました。また、最初は受け身だった子どもたちが、次第に積極的に関わり合い、主体的に取り組んでいました。

まとめ：「ナイトハッピー☆デー」を準備する過程で、子どもたちは自分の意見を出したり、仲間と協力したりする中で自己主張と相手の事を思う気持ちが育ち、友だちの気持ちを理解し、共感したり自己主張をし合える関係性になっていきました。

【エピソード②】

もう一つの大きな経験が「ナイトウォーク」。子どもたちが夢中になっていた絵本の世界をもとに、暗い廊下を一人で探検し、誕生日会に向かうという活動です。暗さに不安を感じる子どもも多く、葛藤が見られましたが、「手を離さないから大丈夫」と励まし合ったり、代わりにプレゼントを届けようとする思いやりの行動も生まれました。友だちの声掛けで勇気を出した子や、休んでいる友だちの分まで気づかう姿に、子どもたちの優しさと主体性が育まれていると実感しました。

まとめ：この経験を経て、子どもたちは仲間との関わりの中で自信や協力する力を深め、日常の中でもよりより積極的に行動するようになりました。ナイトハッピー☆デーは、子どもたちにとって心に残る特別な体験であり、大きな成長のきっかけとなりました。

メモ